



西野卓也 和歌山支部支部長

ツールド熊野は以前から知っていましたが
観戦する機会が無かったです。

今回は和歌山支部の支部長・西野卓也選手に
ツールド熊野を観戦して頂きました。

ロード選手達が頑張っている姿に感動されていました。

競輪ってこんなこと やっっているんだ!!

和歌山支部は若手が育ってきましたね。
今後の活躍が楽しみです。

——ツールド熊野に競輪の補助金が
出た事はご存知でしたか？

「ツールド熊野に競輪の補助金が
使われているのは、恥ずかしいです
けど知らなかったですね。海外から
チームが来てるのも知らなかったで
すし。ステージレースで今は4日間
ですけど、将来には1週間とか10日
間とかになって欲しいです
ね。」

自転車競技の底辺拡大というか、
レースもPR出来るでしょうし本当
に良いと思います。

競輪場が日本には沢山あるのに、
自転車競技がメジャーではないし、
ロードレースだと一般道で見れるの
で、自転車競技の普及というか広
まって行って欲しいですね。

僕らはファンがあつて、競輪場が
あつて開催があつてあつせんがある
から走れますけど、ロード選手は

色々な事情で、制約があつて、サー
キットで走りなさいという場合が多
いですけど、このような場が無いと
走れませんからね。ヨーロッパみた
いに小さい子がロードレースを見て
憧れの選手がいて、そのようになら
うと思うから強い選手が出てくるわ
けですし。だから走る場がとても大
切だと思います」

——現在の和歌山支部の雰囲気は教
えてください。

「和歌山支部は今、若い中で頑張る
選手も出てきました。稲毛健太が日
本自転車競技連盟の強化育成選手に
選ばれて、本人もやる気満々でやつ
ているんで楽しみは出来ました。」

また、自転車競技の普及の目的
で、和歌山支部ではバイシクルチャ
レンジクラブというのを4月から始
めまして、競輪場から離れている新
宮市から来てくれる方とかもいて、

参加者の皆さんは結構楽しみにして
来ていただいています。第一回目の
時の参加者は17名で、第二回の時は
25名も来ていただいて、自転車が足
りない事態となつてしまいました。

バイシクルチャレンジカップに参
加されている方は、競輪場ではめつ
たに乘れないから乗れる機会にとい
う方が多いですね。また小学生の女
の子とかも来ていただいています。
ちっちゃい子が来ると、親御さんも
競輪場に来ていただけるので、つい
でに競輪を知っていただくという競
輪の普及活動にも一役買っていると
思っています」

——和歌山支部の目標はありませ
んか？

「現在、和歌山支部は、37名と小規
模ですが、みんな頑張っています
ね。支部の目標は、和歌山支部の選
手が特別競輪の決勝に乗れるよう
なることです。今は支部の一つの目
標であった、特別競輪に常に出ると
いうのは東口善朋が頑張ってくれた
おかげで達成出来そうです。特別競
輪に常時参加出来るようになってき
たので、もう一歩進んで、次は決勝
に乗ることですね。乗ってくれば
本場に応援しに行けるので、早く
応援に行けるようにして欲しいです
ね」